

企画調整総務管理事務事業 (会議録作成支援システム等整備事業)

企画部企画政策課

事業費：9,500千円

事業の概要

新型コロナウイルス感染症対策として、三密回避のために、各種会議を最低限の出席者数により開催し、出席できなかった者を含めて会議内容の迅速な情報共有を図ることができるよう、会議録作成支援システムを導入する。あわせて、各種会議におけるソーシャルディスタンスを確保するためのマイク設備を導入する。

事業内容・事業費内訳等

- 委託料 9,500千円
(システム初期費用、会議室マイク設備、システムライセンス)

現状・課題

現在、各課等では、各種会議をICレコーダーで録音し、音声を聞きながら職員が手作業で文字起こしを行っているため、特に時間の長い会議では膨大な時間をかけて会議録等を作成している状況にある。

通常業務に加えて、コロナ関連での会議も発生していることから、本事業の導入により、業務の効率化と、三密回避による感染拡大防止を図りたい。

システム導入後の事務フロー（想定）

- ① マイク設備の使用により、鮮明な音をICレコーダーで録音する。
 - ② 録音した音声を会議録作成支援システムのサーバーにアップロードし、音声自動認識技術によって文字起こしする。
 - ③ システムの支援機能を活用して、文字起こしされた内容の確認及び職員の手による修正等を行い、会議録を完成させる。
- ※文字起こしした文章と音声部分のリンク機能等の支援機能があり、該当部分の聞き直しが容易に行えるため効率的な確認・修正が可能。